

9月9日は救急の日

救急車の適正利用にご協力を！

救急の日は、救急業務と救急医療に対する理解や認識を深め、さらに救急医療関係者の意識を高めることを目的に定められています。この機会に“救急車の適正な利用”や“救命処置”などについて考えてみましょう。

富士山南東消防本部 警防救急課

☎972-5803

富士山南東消防本部 裾野消防署

☎995-0119



ちょっと待って！ その119番本当に緊急？

近年、救急車の出動件数が増加しています。そのため、救急隊の現場までの到着時間が遅くなる場合があります。原因の1



つは、軽い症状でも救急車を利用する軽症利用です。救急車は、事故による大けがの方や急病などで緊急に病院へ行く必要な方などを搬送するものです。尊い命を救うために救急車の適正な利用が必要です。事故や急病で救急車以外の搬送手段がなく、病状から緊急に病院に搬送しなければならない場合は、迷わず救急車を要請してください。これ以外は、救急車の要請が必要か、自家用車やタクシーなどを利用できるか、今一度考えてみましょう。

こんな症状がみられたら救急車を呼びましょう

頭	●突然、激しい頭痛がおきる ●突然、高熱になる ●支えなしで立てないぐらい急にふらつく
顔	●顔半分が動きにくい、しびれる ●にっこり笑うと口や顔の片方がゆがむ ●ろれつがまわりにくい、うまく話せない ●見える範囲が狭くなる ●突然、周りが二重に見える ●顔色が明らかに悪くなる
胸や背中	●突然、胸や背中が激しく痛む ●急な息切れ、呼吸困難になる ●胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く ●痛む場所が移動する
おなか	●突然、激しい腹痛がおきる ●激しい腹痛が持続する ●血を吐く ●便に血が混ざる、真っ黒い便が出る
手足	●突然、手足がしびれる ●突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

適切な応急手当ができますか

～ AED の活用で救命率アップ！～

AED（自動体外式除細動器）は、突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常に戻すための医療機器です。救急車が到着するまでの間に AED を含めた救命措置をすることで、救命率がアップします。いざというときに慌てずに対処できるように救命講習会を受講しましょう。

●普通救命講習Ⅰの開催

時 9月9日(土) 9時～12時

所 裾野消防署 3階

定 30人（先着順）

内 心肺蘇生法、AED 取り扱い、気道異物除去

申 裾野消防署 ☎995-0119

他 動きやすい服装でお越しください。

●上級救命講習の開催

時 9月24日(日) 8時30分～17時30分

所 三島消防署 3階（三島市南田町）

※駐車場がないため、公共交通機関をご利用ください。

定 20人（先着順）

内 心肺蘇生法（乳幼児～成人を対象）、AED 取り扱い、三角巾、搬送法など

持 筆記用具、昼食（外出可）

申 三島消防署 ☎972-5800

期 9月15日(金)

他 ●動きやすい服装でお越しください。●筆記試験があります。